日本橋にゴール

東海道53次の旅が完結

２０１６年４月16日、三島駅から東海道最大の難所、箱根峠へ。所々に石畳と松並木が整備され歩きやすい。途中、山中城跡を見学。山中城は畝堀（うねほり）と障子堀を巡らせた広大な城であったが、豊臣軍の攻撃を受けて半日で落城してしまった。箱根峠から少し下った芦ノ湖畔が箱根宿。かつては本陣が６軒もあったが、今は無い。

翌日、強風雨の中、石畳の道を転ばないように注意して下り、小田原宿へ。八ツ棟造りの外郎家で一休みして解散。

６月４日、耐震改修工事が終わったばかりの小田原城を見学した後、小田原から酒匂川の橋を渡る。東海道松並木が所々に残る道を歩いて、西行にちなんだ「鴫立庵（しぎたつあん）」前を通り、旧本陣の宿にたどり着く。

翌日、しとしとと降る雨の中、化粧坂（けわいざか）を歩いて平塚宿へ。相模川に架かる馬入橋を渡り、茅ケ崎市へ。茅ケ崎松並木は両側に松並木が残り、街道歩きの気分になる。大山道への別れ道の先が藤沢宿。藤沢宿は、遊行寺の門前町として発展。江の島、鎌倉、大山参詣の足場としてもにぎわった。

９月24日、藤沢駅から。義経首洗い井戸などを見学して遊行寺へ。降り出した雨の中を歩き、戸塚宿にたどり着く。翌朝、保土ケ谷宿を目指す。急な上りの品濃坂、焼餅坂の先が武相国境。この先の権太坂は江戸から来ると険しい上り道の難所。私たちは、下り道なので良かった。保土ケ谷宿には本陣の通用門が残っていた。

保土ケ谷宿を過ぎると、急な上り坂。坂の上から少し下った所に、幕末に幕府が横浜周辺の警備のために設けた関門の跡がある。ここから神奈川宿。幕末、横浜開港後は欧米列強の領事館が置かれ、神奈川が長崎に代わる国際都市として知られるようになったが、トラブルも多かったようである。

10月15日、東神奈川駅から川崎宿へ向かう。途中、生麦事件之跡を通り、川崎宿に入る。本陣など宿場の遺構は残っていないが、かわさき宿交流館には、宿場の解説資料が置かれて、昔の街並みを想像できるように工夫されている。六郷川（多摩川）を渡り、いよいよ東京都大田区に入る。大森町で宿泊。

鈴が森刑場跡には、磔（はりつけ）に使用された台石などが並び、長くはいられない雰囲気。立会川を渡り、品川宿に入る。通りは、カラー舗装がしてあって分かりやすい。東海道の江戸の玄関口で旅人の滞在が多く大変ににぎわったが、往時の建物は残っていない。

品川宿を出て、赤穂浪士が眠る泉岳寺に参拝。高輪大木戸跡を過ぎた先に、西郷・勝会見地碑がある。徳川家菩提寺の増上寺では、イギリスから修復作業のために一時帰国している「台徳院殿霊廟模型」の精巧な匠の技に感服した。新橋、銀座を通り、２０１３年10月に草津宿を出発した今回の旅は18回で日本橋にゴール。64期の友人たちが出迎えてくれて感無量であった。

【追加の旅】

徳川幕府が管理していた東海道は、大津から京には向かわずに、伏見、淀、枚方、守口を経て大阪に向かう57次であったとされ、11月19日～21日、追加４次と大阪城、心眼寺、安居神社、茶臼山など真田丸関連史跡を巡った。

清水計枝（64期）

10月16日　日本橋に到着　東海道53次の旅が完結

土屋綜合法律事務所
弁護士　土屋　文男（69期）
〒102-0073
千代田区九段北1-3-3
九段下東急真サクラビル4階・8階
TEL03（3512）0211
FAX03（3512）0214

女性同窓生の会を開催します

本年度も女性同窓生の会を開催します。今回は、友家しづさんによる「しづの源氏語り」をお楽しみいただきます。その後、会食と懇談です。

日時：２月26日（日）
12：00～16：00

場所：神楽坂
日本出版クラブ会館

会費：５千円

詳細は1月20日ごろ、HPおよびメールでご案内します。
お申し込みは池田有美子まで
yxy@mub.biglobe.ne.jp

天然酵母田舎パンの店
ルヴァン Levain
ふるさとへ帰って来たら
ぜひ立ち寄ってください
オーナー　甲田　幹夫（65期）
富ヶ谷店：渋谷区富ヶ谷 2-43-13　TEL 03-3468-9669
信州上田店：上田市中央 4-7-31　TEL 0268-26-3866